

欧州委員会報告書「Regional Biotechnology」の概要について

2011年2月、欧州委員会研究・イノベーション総局は、「バイオテクノロジーは多くの分野（薬剤、農業、食品、化学、環境、エネルギー等）におけるイノベーションのプロセスの飛躍的な進化により成り立っている。その広範囲に及ぶ波及効果により、ヨーロッパの産業の競争力を高める事が出来る」として、世界で成功しているバイオクラスターについて調査を行い、EU 会合に報告した。

この結果については、ヨーロッパ2020作戦の成功に必要とされており、新しい世界的経済成長に重要な要素であり、EU 加盟国にクラスター政策の改善努力に対する支援も目的としている。

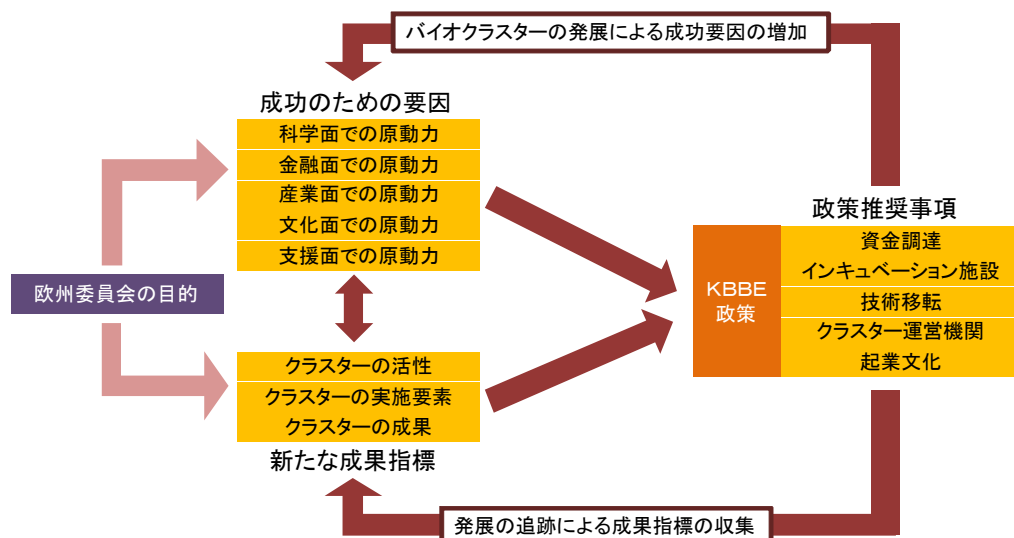
本調査に際しては、EU 委員会に独立した専門家グループを設けた。この専門家グループは、クラスターの優位性を支える政策の強化、地域産業におけるクラスター政策のより良い策定方法について推奨を行うという任務を負っている。グループの活動に際しては、国際的クラスター協力への強化、振興産業の支援におけるクラスターの役割、クラスター及び組織の優位性の向上、クラスターによる地域経済の政策間で良い連携を生み出す事を主要テーマとして調査された。

調査は、世界の16のモデル・バイオクラスターの分析により、クラスターの経済的業績の成功の背景にある成功要因を特定する事、その上で特定した成功要因の利用可能性、将来の財政支援に向けた成果指標の検討が行われた。

この、世界16のバイオクラスターを選ぶに際しては、成熟度、対象分野、地理的位置、多国籍性にに基づき選定し、その後、オンライン調査や電話・対面による面接等により詳細に分析した。特に成功要因の評価に際しては、科学面での原動力、産業面での原動力、資金面での原動力、支援面での原動力、文化面での原動力の5つの原動力毎に調査を行った。

本調査の結論として、次のことが明らかとなっている（下図参照）。

- ・ 特定した成功要因と成果指標は相互に関連しており、政策推奨事項は、成功要因に影響を与え経済的な発展を加速する。
- ・ 発展により生まれた成果を追跡することによって新たな成果指標が生まれる。さらに成功要因及び成果指標を分析し、新たな政策を提言し実行する。
- ・ この取り組みを継続することにより、次の成熟段階へバイオクラスターを進化させることができる。



なお、報告書においては、EU加盟国に対し、以下の6テーマの政策推奨事項が提案された。

1. ヨーロッパにおけるバイオ産業の発展を支える事項
 - ・ 税制、財政等の支援措置の等、政策行動の策定
 - ・ 新規に開発された製品・技術に関する基準、認証、表示及び、試験基準の策定
 - ・ 公共調達への奨励 など
2. 企業家や投資家からの資金供給メカニズムの創出
 - ・ EUにおける有力な取引の流れと投資規模の拡大
 - ・ 資金を得るための手順の簡素化
 - ・ ベンチャーキャピタル、投資家を誘致するためのインセンティブの創出
3. インキュベーション施設の重要性の認識
 - ・ 新規バイオインキュベーション施設の創出の促進
 - ・ インキュベーション施設から期待されるサービスの定義
 - ・ 国際企業の事業開始に際して、その国のインセンティブを得られるための国際協力 など
4. 技術移転プロセスの見直し
 - ・ 断片化している技術移転組織の連携強化
 - ・ EUで最も成果を上げている技術移転組織の要因の特定と波及
 - ・ EU全体として技術移転が進むよう各国の連携
 - ・ 技術移転人材の育成
5. クラスタ運営機関の高度化
 - ・ 組織が効率性を高めるため、サービス、資金供給、統治機構を定義
 - ・ クラスタ管理者、チームのための報酬制度の設立
 - ・ バイオ技術全般について、投資者に対し利点等を周知するプログラムの開発
6. 企業家精神の高揚
 - ・ 役割モデル的企業家に対する報酬制度の設立
 - ・ 研究者を対象としたビジネス研修と成功例を共有するための情報共有の構築
 - ・ 企業家プログラムの資金調達及び熟練労働力確保のための助成金の確立
 - ・ リスク共有のための財務メカニズム（保証、保険）の確立。